

# [復興重点施策3] 未来につながる子どもたちの豊かな環境

震災は、教育施設をはじめ、保育所などの子育て施設にも大きな被害を与えました。将来の七ヶ浜を担う子どもたちを育成するための教育や子育て施設の復興への取り組みは、子どもたちに未来につながる希望のメッセージを伝えます。

## 1. 未来を創る子どもたちの学びの場の提供

震災により使用することのできなくなった七ヶ浜中学校を早期に復旧し、快適な教育環境の提供はもちろんのこと、環境に配慮したエコスクール機能や、拠点避難所としての防災機能、地域コミュニティに配慮した地域拠点機能、将来の亦楽小学校改築時に小中一貫校の想定にも配慮した改築に取り組みます。

また、震災により使用することのできなくなった給食センターは、遠山地区に移築し、迅速な給食の再開に努めます。

### □安全な校舎・快適な教育の場の提供

施設の耐震化や非構造部材の耐震化により、地震などの災害から子どもたちを守る構造に配慮します。

また、各所に木材を使用するなど、温かみと潤いのある空間を形成し、採光や採風に加え海が見える景観、本町の景観に配慮したゆとりある学習・生活・運動環境により、快適な教育の場を提供します。

### □地域コミュニティ・防災・環境に配慮した七ヶ浜中学校の改築

地域に開かれた学校づくりを目指し、地域の防災拠点としての役割と機能の充実を図ります。また、自然エネルギーを取り入れたエコスクールや復興のシンボルとして広く発信しうる学校づくりを目指します。

### □将来的な小中一貫教育を目指す学校

本町の教育の特徴であるジョイント5を発展させ、学校間の連携を高め、将来的な小中一貫教育の導入について検討を進めます。(亦楽・七ヶ浜小中一貫校など)

### □給食センターの早期再開

遠山地区にドライ方式(調理場の床を乾燥した状態に保ち、食中毒を防止)・2,200食対応の給食センターを移築し、食育としての役割を担うほか、食材に地場産品を積極的に活用するなど、地産地消にも取り組みます。

## 2. 子育てネットワークの構築

子育てしやすいまちづくりに向けて、震災で使用できなくなった遠山保育所を迅速に再建し、汐見保育所や子育て支援センター、さらには、町内私立幼稚園、認定こども園などの子育て施設と連携し、子育て支援ネットワークの構築に取り組みます。

### □次世代を担う子どもたちの支援

多様な生活スタイルに応じた子育てを支援するため、待機児童の解消をはじめ、一時預かり保育の充実など、復興に向けての子育て環境の整備に取り組みます。

### □無限の可能性を持つ子どもたちの優しい環境の提供

子どもたちの自然な発達を支える環境づくりを進めるため、遠山保育所の再建に取り組みます。

## □遠山保育所の創造的復興

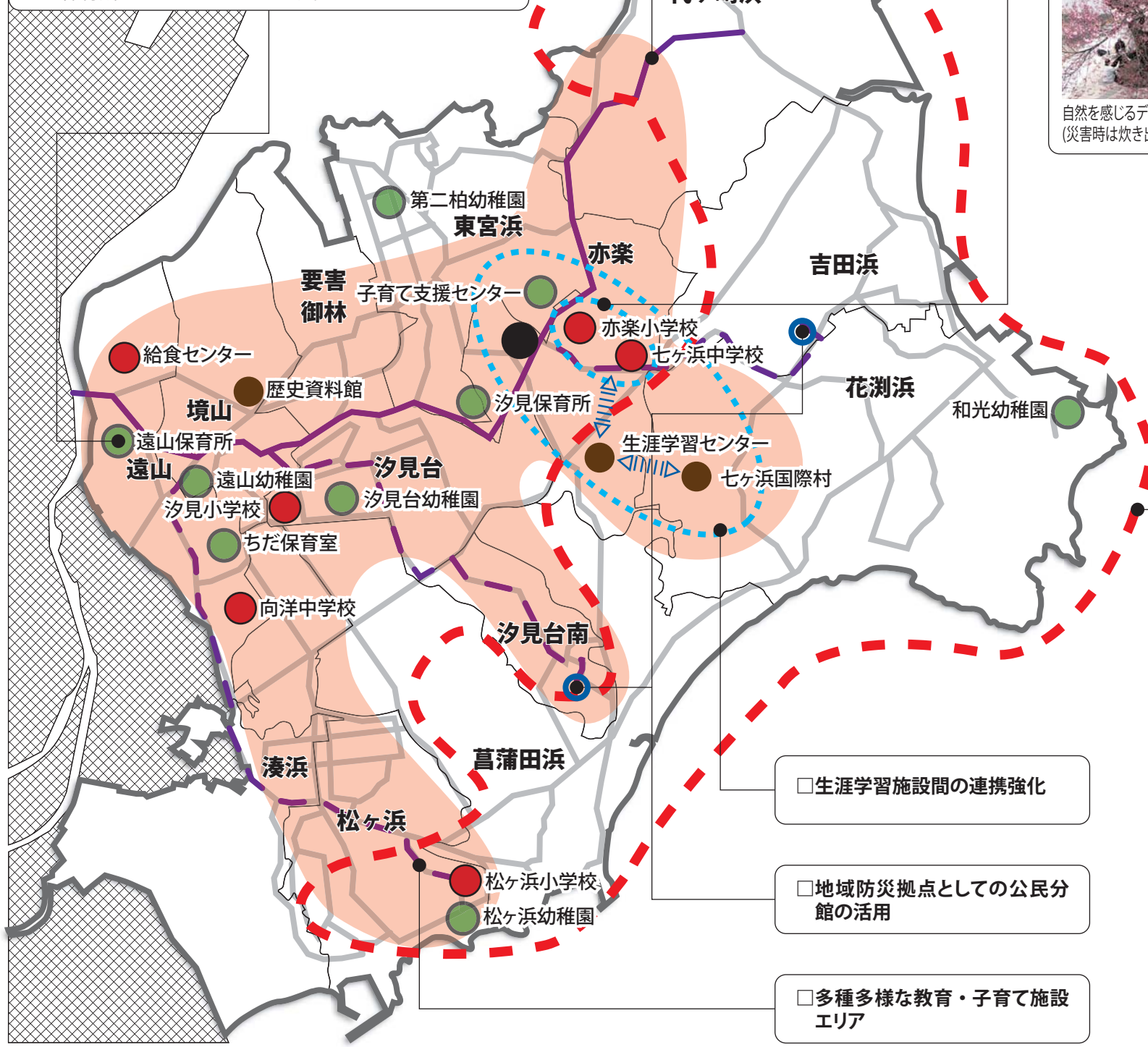
遠山保育所の復興は、この地域全体を安心して暮らせる場所として自ら再生する「創造的復興」を開始する先導的事業として取り組みます。

遠山保育所プロポーザル 最優秀案より



[作品タイトル] みんなが集う野原の保育園

[作品説明] 広い野原のような中庭を共有し、子どもたちだけでなく地域の人々も、できるだけみんな一緒に過ごせる保育所をイメージしています。



□震災時における安全な避難や物資運搬に活用

□生涯学習施設間の連携強化

□地域防災拠点としての公民分館の活用

□多種多様な教育・子育て施設エリア

## □環境・地域・防災に配慮した中学校

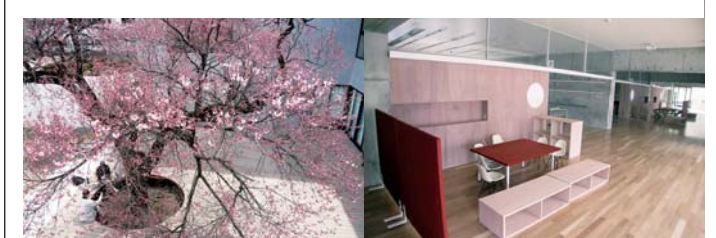
七ヶ浜中学校の復興は、単に教育施設の復旧にとどまらず、環境や地域、防災に配慮した新たな学校の形を示すモデル事業として取り組みます。

参考事例 長野県伊那東小学校



復興・防災のシンボルとなる外観

小中一貫を見据えた図書室や特別教室



自然を感じるデッキ  
(災害時は炊き出しの場所として利用を想定)

多様な授業にフレキシブルに対応できる教室

## □地域資源の活用

地域の個性を形づける浜を、教育資源として活用します。



七ヶ浜国際村パフォーマンスカンパニー「NaNa5931」



葛蒲田海水浴場

## 凡例

- 浜や自然を活用した教育資源エリア
- 多種多様な教育・子育て施設エリア
- 公民分館[一部]
- 学習施設
- 学校施設
- 子育て・保育所・幼稚園
- 災害時の避難路・物資輸送路